

平成27年度「市役所の仕事」花まる通信簿(平成26年度実績)

担当課 25産業振興課

Plan	◆事務事業の概要◆		会計区分	一般会計	事業通番	900	事務事業コード	2515
事務事業名	島の応援団推進事業				開始年度	平成22	終了年度	未定
種類	ソフト事業(任意)	根拠法令	無し		例規等	無し		
将来ビジョン	1. 産業の振興 (3)産業間連携と雇用の確保						H25: 重点●政策○	●
H26施政方針	1. 人口減少対策 (4)商工業の振興						H26: 重点●政策○	●
H27施政方針	1. 人口減少対策 (6)産業の振興 ③ 地産地消の一体的政策						H27: 重点●政策○	○
事業概要	次の5本の柱により、事業を推進する。 1. 佐渡の幸プロジェクト:山の幸に加え、海の幸の利用を促進する。(未利用資源の発掘及び活用) 2. 佐渡宣伝会議:マーケティングに関する研修会の開催(基礎編、実践編) 3. 新企業人育成事業:新人職員講習の実施及び技能検定による資格取得講習会の実施 4. 各種製造業研究・技術開発支援事業:産業創造塾を中心とした座学及びものづくりの実践 5. ものづくり支援センター:専門相談員による支援を行う(技術支援、補助制度の紹介、経営改善などの相談窓口) その他、上記の事業実施のための各種会議を行う。							
対象	島内外企業・団体・学校等教育機関・地域住民							
意図(対象をどのようにしたいか)	当市の最重点課題の一つである「人口の拡大」「産業振興」を実現するため、課題解決に自ら取り組む意欲ある企業・地域リーダーの取り組みに支援し、官民一体となり課題解決を図る。							

Do

◆将来ビジョン成長力強化戦略指標◆

項目名	戦略指標	H24現状	H31目標
生産から販売までを連携させる産業構造改革	市内総生産	1,912億円/年	2,000億円/年
雇用の確保	有効求人倍率	0.78倍/年	県平均並み

◆事務事業の目標(成果)指標◆

目標(成果)指標名		単位	25年度実績値	26年度(評価年度)		27年度目標値	28年度目標値	31年度目標値
算式	指標の算式			目標値	実績値			
	事業への参加人数	人	986	1000	630	500	500	500
算式	セミナー等延べ参加人数							

◆事務事業を構成する細事業の事業費・成果指標◆

枝番	細事業名			H25決算額	H26決算額		H27当初予算額	H28以降の予算の方向性		重点細事業
	指標	目標(成果)指標名	単位	H25実績値	目標値	実績値	H27目標値	事業の方向性		
1	「島の応援団」推進委員会(小委員会含む)			50	0		30	予算	維持	
	指標	委員会開催回数	回	39	40	35	40	事業	維持	
2	「山の幸」プロジェクト			40	16		0	予算	不要	
	指標	出荷数量(箱)	箱	1487	-	1500	-	事業	終了	
3	食の研究会(新たな果樹加工品開発支援事業)			2,647	1,259		0	予算	不要	
	指標	(試作品)商品開発件数	件	3	5	0	-	事業	終了	
4	佐渡産業創造塾(各種製造業研究・技術開発支援事業)			5,904	3,013		0	予算	不要	
	指標	補助事業・委託事業等取得件数	件	1	2	0	-	事業	終了	
5	佐渡島インターンシップ事業			264	0		0	予算	不要	
	指標	新規:労働力確保数(インターンシップ参加者数含む)	人	3	-	-	-	事業	終了	
6	新企業人育成事業			1,318	650		522	予算	減額	○
	指標	研修会・セミナー開催回数	回	11	5	5	6	事業	維持	
7	新規販路開拓事業(社員通販等開拓事業)			132	220		0	予算	不要	
	指標	取引件数	件	1	2	6	-	事業	終了	
8	佐渡島人財育成事業(キャリア教育推進事業)			958	350		0	予算	不要	
	指標	セミナー・説明会参加人数	人	173	1000	180	-	事業	終了	
9	佐渡の幸プロジェクト			0	0		421	予算	維持	
	指標	出荷数量	箱	-	-	-	1500	事業	維持	
10	佐渡宣伝会議			0	0		2,696	予算	維持	○
	指標	マーケティング研修の平均参加者数	人	-	-	-	20	事業	維持	
11	各種製造業研究・技術開発支援事業			0	0		3,935	予算	維持	◎
	指標	佐渡産業創造塾(座学)の平均参加者数	人	-	-	-	40	事業	維持	

事業費の合計(千円)				11,313	5,508	7,604
財源内訳	国庫支出金			0	2,754	3,802
	県支出金			0	0	0
	地方債			0	0	0
	その他			0	0	0
	一般財源			11,313	2,754	3,802

Check		◆事務事業を構成する細事業の評価◆			A：適正である B：検討の余地あり C：見直しすべき	
枝番	細事業名	妥当性	有効性	効率性	課題と対策	
1	「島の応援団」推進委員会(小委員会含む)	B	B	C	事業を実施していくための会議等であり、必要なものと考えられる。	
2	「山の幸」プロジェクト	B	A	B	山菜の有効活用を行う目的で実施してきたが、大きな成果を上げている。今後は、山の幸に加え、海の幸にも対応するため、新たに「佐渡の幸」としてプロジェクトを新設するため、この項目は発展的に廃止する。	
3	食の研究会(新たな果樹加工品開発支援事業)	C	C	C	新たな試作品作成や商品開発がされなかった。また、新製品開発の支援は、市として補助事業が整備されていることから、廃止する。	
4	佐渡産業創造塾(各種製造業研究・技術開発支援事業)	C	C	C	佐渡産業創造塾として、各種製造業研究・技術開発支援のための補助事業・委託事業等の取得を目指したが実績がなかった。今後は、座学の開催を中心に開催するものとしてリニューアルするため、この項目は廃止する。	
5	佐渡島インターンシップ事業	C	C	C	一般会計で実施している事業に統合することにより、年度当初から事業を廃止した。このため、実績はありません。	
6	新企業人育成事業	C	B	C	新入社員等の資質向上のための研修会の開催や国家資格となる技能検定をはじめとする資格の取得を支援するため、必要な事業と考える。	
7	新規販路開拓事業(社員通販等開拓事業)	C	C	C	市外の企業の社内通販で佐渡の特産品を宣伝していただき、購入等にも対応いただいた。目標よりも成果を上げたが、費用対効果の面で評価できる事業とは言えないため廃止する。	
8	佐渡島人財育成事業(キャリア教育推進事業)	B	B	C	キャリア教育啓発のためのセミナー・説明会の開催を行ったが、思ったほどの参加人数が得られなかった。そのため、取組み強化するため、この事業とは切り離して実施することとするため、この項目は廃止する。	
9	佐渡の幸プロジェクト				H27年度新規	
10	佐渡宣伝会議				H27年度新規	
11	各種製造業研究・技術開発支援事業				H27年度新規	
Action		◆今後の事務事業の方向性◆				
評価(担当課長)		事業の方向性	維持	予算の方向性	減額	
事業の方向性 (事業全体の課題や改善方策など)		民間で出来ることは、民間主導へ移行していく必要があるが、まだまだ組織として成熟していない部分が多いこと、産学官金連携など、市が関わる必要がある事柄が多ことから、市が中心となり、事業を実施していく。また、各種勉強会への参加者も多くいることから、事業量は維持していく方針であるが、予算額については、工夫により減額していくように努める。				